

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2014-223367 (P2014-223367A)

【公開日】平成 26 年 12 月 4 日 (2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報 2014-066

【出願番号】特願 2014-136549 (P2014-136549)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 9 日 (2014.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

しかしながら、従来の遊技機では、装飾部材を、発光手段からの光によって発光装飾させることができるものの、装飾部材の発光装飾を見慣れてしまい、遊技に対する関心が低下してしまう虞があった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 1：遊技機において、

「遊技中に所定の演出画像を表示する演出表示領域と、
遊技中に所定の発光演出を行う光源が配置されたベース体と、
を備えた遊技機であって、

前記ベース体は、

第 1 光源が配置された第 1 ベース体と、

第 2 光源が配置された第 2 ベース体と、を少なくとも含み、

前記第 1 光源が配置された第 1 ベース体は、前記演出表示領域の一部と重なる透明板の
背面に配置され、前記演出表示領域を視認可能とされるように透過性の部材で構成されて
おり、

前記第 2 光源が配置された第 2 ベース体は、前記演出表示領域と重ならない待機位置か
ら前記演出表示領域の一部と重なる出現位置に移動可能な可動体に配置される」ものであ
ることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技中に所定の演出画像を表示する演出表示領域と、
遊技中に所定の発光演出を行う光源が配置されたベース体と、
を備えた遊技機であって、

前記ベース体は、

第１光源が配置された第１ベース体と、

第２光源が配置された第２ベース体と、を少なくとも含み、

前記第１光源が配置された第１ベース体は、前記演出表示領域の一部と重なる透明板の
背面に配置され、前記演出表示領域を視認可能とされるように透過性の部材で構成されて
おり、

前記第２光源が配置された第２ベース体は、前記演出表示領域と重ならない待機位置か
ら前記演出表示領域の一部と重なる出現位置に移動可能な可動体に配置される
ことを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記第１光源は、複数個のＬＥＤにより構成されることを特徴とする請求項１に記載の
遊技機。

【請求項３】

前記可動体は、前記第２光源からの光を拡散するレンズ部材を備えることを特徴とする
請求項１又は２に記載の遊技機。